

# UBU TAWAN



広げよう 夢を 輝かせよう 命を (Expand our Dreams Make Life Shine)

## 人権旬間スタート！～自他の人権について考えよう～

学園は現在、人権旬間(自分や友達の人権についていつも以上に考える期間)に入っています。

6月3日の朝、人権旬間スタート会をオンラインで行いました。生徒会長より、「人権旬間の意味をしっかりと考え、人権が守られる産山学園にしていきましょう」と呼びかけがありました。また、堤副校長先生からは、人権に関する詩の紹介やいじめをしない、させない、ゆるさないために学園生に持ってほしい「4つの勇気」について話がありました。(話す勇気、やめる勇気、とめる勇気、自分と他者の違いを認める勇気)

5時間目は、人権に関する学習をクラスごとに行いました。学年の実情に応じてテーマを決め、人権について深く考える機会としました。親切、水俣訪問に向けた事前学習、権利と義務、差別のない社会に向けた取組、進路実現など、学園生はお互い考えを述べながら学習を深めていきました。

6月8日(水)は、先生たちも校内研修で人権教育に関する研修を行い、学びを深めました。子供たちの心に「人権感覚を高める種」をまいて、豊かな心を育てていきます。

人権旬間中は、自分や友達のよいところをいつも以上に見つめ直し、それぞれが大切な存在であることに気付いてほしいと思います。そして、優しさや思いやりあふれる学園にしていきたいと思っています。(今村)



## 休校でも学園生の学びを止めない～リモート学習実施～

6月6・7日は、感染拡大のため、安全を最優先に考え、休校措置をとりました。

先生たちは、学園生の学びを止めないために、6日に準備を整え、7日は2～9年生においてリモート学習を行いました。

朝、オンラインで健康観察を済ませると、早速授業が始まりました。国語、算数(数学)、英語などの学習を教室と各家庭をオンラインでつなぎ行いました。担任からの質問に学園生はしっかりと答えていました。画面越しの授業ですが、担任と学園生の気持ちはしっかりとつながっていました。

なお、1年生は、担任が家庭へ電話をかけ、個別に学園生の様子を把握しました。

8日からは、学校を再開しました(1年生は9日から)。やむを得ず出席できない学園生については、可能な限りリモート学習を続けていきたいと思えます。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。(堤)

## ～安部先生、学園生をよろしくおねがいします～

学習支援員の安部哲雄先生が、6月2日から、産山学園で勤務開始となりました。

教職経験も豊富で、以前、産山村児童クラブで勤務されたこともあります。主にファーストステージの学習支援を担当します。

6月2日、1時間目には、早速ファーストステージの学園生と安部先生とのお見知り会を開きました。一人一人自己紹介を行った後、学園生は安部先生にたくさん質問していました。

学園の職員が増え、さらに充実した教育が期待できます。安部先生、学園生をどうぞよろしくおねがいします。(今村・堤)

